



くぬぎカレッジ 活動報告

くぬぎ電話・メール・支援者研修

令和3年2月7日



障害を理解するための講座① 介助の心得

8月30日(日) 午前10時～正午

講師：坂田晴弘さん（国分寺市障害者センター）

- ❖ 知的障害はどんな障害か
- ❖ 気持ちをどう捉えるか
- ❖ 支援の際、何を大切にするのか
～ケーススタディ



障害を理解するための講座① 介助の心得



講師の坂田さん
ゆっくりと丁寧な話し方
でわかりやすかったです



つい忘れがちですが尊重し、敬意を
もってかかわることの大切さを再確認
しました。



自分の盲点など気づくことが多く
参考になりました。他のス
タッフの方の話が聞いて良かっ
たです。



障害を理解するための講座②

「障害のある人ってどんな気持ち？」

～見て、聞いて、体験して知ろう～」

11月7日(土) 午前10時～正午

講師：座間キャラバン隊

- ❖ 私たちの活動について
- ❖ 詩「みんなちがってみんないい」金子みすゞ
- ❖ ダウン症・自閉症について
- ❖ ビデオで紹介「私たちの子どもたち」「僕たちの世界」
- ❖ 模擬体験 障害児・者の特性・メカニズム・接し方のコツを知ろう
- ❖ サポート・接し方のコツ・適切な対応のヒント
- ❖ 母の気持ち



障害を理解するための講座②

「障害のある人ってどんな気持ち？」

～見て、聞いて、体験して知ろう～

体験を通して障害のある方の気持ちを考えることができ、関わる際のポイントについて学ぶことができました。



実際に子育てをした保護者の方々のお話はとても貴重だと思います。忙しい中ですし、体力もないと大変だと思いますが、たくさんの声を出して行ってほしいと思います。そして少しでも過ごしやすい世の中に変わっていくとよいと思います。

「障害のある方」と特別に考える必要はなく、優しい心をもって関われば良いのだと分かりました。



障害を理解するための講座③

障害者のスポーツ活動の中で得た コミュニケーションのヒント

11月7日(土) 午後1時～3時

講師：磯野 茂さん(一般社団法人 日本伴走家協会)

- ❖ 知的障害のある人たちとのスポーツ活動から得たこと
 - ・人は一人ひとり違う、ユニークな存在
- ❖ 縦の関係から横の関係へ
 - ・縦の関係 支配-服従の関係 / 横の関係 尊敬・信頼・協力・共感関係
 - ・共感…相手の考え方や気持ち、相手の関心に、関心を持つこと
- ❖ コミュニケーションとは？
 - ・“ダメ出し”から“ヨイ出し”へ



障害を理解するための講座③

障害者のスポーツ活動の中で得た コミュニケーションのヒント



縦の関係になりがちで、横の関係、そして共感することの大切さを痛感。相手のことを知り、認め合い、寄り添える関係をつくることの大切さを改めて感じました。

見方・捉え方・発想を固定せずに考えていきたいです。障害者の方と限らずすべての関わる方達とのコミュニケーションの取り方にも役に立ちそうです。伴走しないことが目標です、と聞いて最終目標がピカッと光って見えた気がしました。





くぬぎ電話

毎週水曜日 午後4時～5時 恋ヶ窪公民館

8月26日(水)から始まりました

楽しかったこと、悔しかったことなど、ちょっとしたことでも話したいことはたくさんあります



『今度のくぬぎカレッジに参加します』



『とても楽しみにしています』





くぬぎ電話



今日はコロナで自宅待機でつまらないよ



今日は1万歩、散歩をしてきたよ



いつ焼肉行きますか？



彼女とケンカしちゃった・・・



今日はお掃除いっぱいして、気持ちがいいんだ





くぬぎメール

- ❖ 月2回水曜日配信
- ❖ 第12号まで発信
- ❖ みなさんから返信が届きます

